

学校経営と学校図書館					単位数	2単位
授業コード	16400	科目ナンバリング	520Z0-2340-x2	開講年度学期	2025年度第 1 期	
担当者氏名	赤木 雅宣					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
学校教育における学校図書館の意義や役割，経営のあり方，司書教諭の任務と役割等，学校図書館全般についての基本的な事柄について講義する。そのうえで，学校図書館の基本計画を作成して，よりよい学校図書館運営について考える。						
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション				
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	学校図書館全般についての事柄を理解するとともに，学校教育の中で，学校図書館や司書教諭の果たすべき役割について考察する。				知識・技能／思考・判断・表現力	
2	理想の学校図書館像を描いて，学校図書館運営計画等を作成する。				思考・判断・表現力／主体性	
3	学んだことをポートフォリオ等にまとめ，振り返ることで，学校図書館司書教諭の役割を自覚する。				主体性	
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	授業中の取り組み（討論への参加ほか） 30点				1／2／3	
2	小レポート（課題） 30点				1／2	
3	最終レポート 40点				1／2／3	
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目			実務あり			
実務経験の授業への活用方法						
小学校の現場で、教諭（図書館教育担当）、また、学校図書館司書教諭として学校図書館の運営や教育に携わってきた。学校図書館司書教諭として、学校図書館の運営計画を策定して、職員室の先生方に協力を求めた。また、各教科、領域等の年間指導計画をもとに、学校図書館蔵書の購入計画等を考えた。これらの経験もとに、学校経営、運営という視点から学校図書館の在り方を明らかにしていき、学校図書館の役割や使命についての実践的構築を促す。						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間			
1. 学校図書館の理念と教育的役割						
事前学修	「学校図書館憲章」を読み、学校図書館の役割について考える。					2時間
事後学修	授業で学んだことをもとに、学校図書館の教育的役割についてまとめる。（小レポート作成）					2時間
2. 学校教育の中における学校図書館の重要性						
事前学修	「学校図書館法」を読み、学校図書館の位置づけと役割について考える。					2時間
事後学修	「学校図書館法」と「学校図書館憲章」を比べながら、学校図書館の位置づけと役割について自分の考えをもつ。（小レポート作成）					2時間
3. 学校図書館の意義と役割（理想の学校図書館像）						
事前学修	「ユネスコ学校図書館宣言 -全ての者の教育と学習のための学校図書館」を読んで、理想の学校図書館像をもつ。					2時間
事後学修	既習の「学校図書館法」「学校図書館憲章」と「ユネスコ学校図書館宣言」を比べながら、自分の考える理想の学校図書館像をもつ。（小レポート作成）					2時間
4. 学校図書館の意義と役割（学習指導要領）						
事前学修	学習指導要領に示されている学校図書館教育についての記述を読んで、学校経営における学校図書館の位置づけと役割について考える。					2時間
事後学修	「学校図書館のこれまでとこれから」について、自分の体験も踏まえて考えを作る。（小レポート作成）					2時間
5. 学校図書館の意義と役割（学習・読書・情報）						
事前学修	現行学習指導要領から、学校図書館教育（学習・読書・情報）に関する記述を取り出して、今の学校教育が求める学校図書館について考える。					2時間
事後学修	授業の内容をもとにして、これからの学校図書館に（これまで以上に）求められることについて、自分の考えをもつ。（小レポート作成）					2時間

6. 学校図書館の経営Ⅰ（機能性と快適性）		
事前学修	テキストの「学校図書館経営（経営内容）」に関する章を読み、その内容をまとめる。	2時間
事後学修	学校図書館の経営を担う学校図書館司書教諭として、「何を頑張れば良いのか」を整理して、自分の考えをもつ。（小レポート作成）	2時間
7. 学校図書館の経営Ⅱ（経営内容とシステム作り）		
事前学修	テキストの「学校図書館経営（経営活動）」に関する章を読み、その内容をまとめる。	2時間
事後学修	学校図書館の経営を担う学校図書館司書教諭として、どんな組織、システムを作っていくのかについて自分の考えをもつ。（小レポート作成）	2時間
8. 学校図書館の経営Ⅲ（学校図書館司書と司書教諭の協働）		
事前学修	テキストの「学校図書館担当者の役割と任務」の章を読んで、自分の考えをもつ。	2時間
事後学修	学校図書館司書と司書教諭、それぞれの専門性を整理して、望ましい協働の在り方についてまとめる。（小レポート作成）	2時間
9. 学校図書館の経営Ⅳ（学校図書館のPDCA）		
事前学修	テキストの「学校図書館の運営」と「自己評価の在り方」について書かれているところを読んで、自分の考えをもつ。	2時間
事後学修	「学校図書館運営計画」を作成する。（小レポート扱い）	2時間
10. 学校図書館の経営Ⅴ（施設・設備、ICT活用）		
事前学修	テキストの「学校図書館の施設・設備」の章を読んで、自分の考えをもつ。	2時間
事後学修	施設、設備、ICT活用の面から理想の学校図書館を示して、その意味や意義を説明する。（小レポート扱い）	2時間
11. 学校図書館経営と司書教諭の役割（「学校図書館の経営Ⅰ～Ⅴのまとめ」）		
事前学修	6週目から10週目の学習内容やレポートを振り返って、学校図書館経営のポイントと司書教諭が出来ること（すべきこと）についてまとめる。	2時間
事後学修	司書教諭の職務についてまとめる。 ・学校図書館経営の中核として ・授業者としての司書教諭の立ち位置 ・学校図書館司書の専門性の生かし方 ・学校図書館司書との協働 など	2時間
12. 学校図書館の特別活動への支援（図書委員会を中心に）		
事前学修	図書委員会の活動について、小学生、中学生、高校生の頃を想起して、自分の考えをもつ。	2時間
事後学修	図書委員会の担当教諭として、年間計画を作成する。（活動の意図を明らかにすること）（小レポート扱い）	2時間
13. 学校図書館の教科・授業等への支援Ⅰ（読書活動）		
事前学修	指定された教材を読んで研究して、読書活動への発展の仕方を考える。	2時間
事後学修	授業で扱った単元等をもとにして、授業から読書活動へ展開する方策、学校図書館が出来ること等を考える。	2時間
14. 学校図書館の教科・授業等への支援Ⅱ（調べ学習）		
事前学修	指定された教材を読んで研究して、調べ活動への発展の仕方を考える。	2時間
事後学修	授業で扱った単元等をもとにして、授業から調べ活動へ展開する方策、学校図書館が出来ること等を考える。	2時間
15. まとめ		
事前学修	毎回の学習内容、小レポート、運営計画や年間計画等を見直して、「司書教諭になったときの自分」について考える。	2時間
事後学修	学校図書館司書教諭としての職務についてまとめる。（最終レポート作成へ向けて） ・しなくてはならないこと ・出来れば取り組みたいこと ・学校図書館司書との協働で出来ること ・校内連携 ・校外連携 など	2時間

試験等
最終レポート
試験のフィードバックの方法
「15 まとめ」の中で、最終レポートに求めること（内容）を伝え、フィードバックする。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
○「学校経営と学校図書館」 2019年 ISBN978-4-7933-2274-7 公益財団法人全国学校図書館協議会「探求 学校図書館学」編集委員会編 全国SLA（公益財団法人全国学校図書館協議会）発行
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
毎回授業で資料を配付する予定。
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問を受け付ける。
連絡先
yukkuri@m.ndsu.ac.jp
留意事項

学校図書館メディアの構成					単位数	2単位
授業コード	16410	科目ナンバリング	520Z0-2340-x2	開講年度学期	2025年度第 1 期	
担当者氏名	下園 和宏					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）	2 演習					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
児童・生徒及び教職員の様々な学校図書館への要求に応えるため、学校図書館の各種メディアの特性について学ぶ。また、その組織化、選択法と分類、目録の基礎などを学ぶ。学校図書館メディアの構成に関する理解と実務能力の育成を通して、より良い学校図書館をつくる上での基礎的な知識を身につけ、学校図書館司書教諭としての基本的な考え方の構築を図る。						

第06回 メディアの組織化(1)_組織化とは何か		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第07回 メディアの組織化(2)_日本目録規則の基礎		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第08回 メディアの組織化(3)_日本目録規則の応用		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第09回 メディアの組織化(4)_目録作成演習		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第10回 メディアの組織化(5)_日本十進分類法の基礎		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第11回 メディアの組織化(6)_日本十進分類法の応用		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第12回 メディアの組織化(7)_件名標目表		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第13回 メディアの組織化(8)_分類演習		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第14回 メディアの配置と利用_書架配置やサイン		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第15回 学習のまとめ		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間

試験等
定期試験
試験のフィードバックの方法
試験実施後に結果及び内容の解説を行う。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
探究学校図書館学 第2巻 学校図書館メディアの構成／全国学校図書館協議会「探究学校図書館学」編集委員会／編著／全国学校図書館協議会／2000／9784793322754／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし
オフィスアワー
オフィスアワー：金曜日 5時限 授業終了後に教室で質問を受け付けるほか、メールでの問い合わせも可とする。
連絡先
shimozono@m.ndsu.ac.jp
留意事項
・授業レジュメは授業実施時に配布。 ・授業時の課題の制限時間は厳守。

学習指導と学校図書館				単位数	2単位
授業コード	16420	科目ナンバリング	520Z0-2340-x2	開講年度学期	2025年度第 1 期
担当者氏名	伊木 洋				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
各教科・領域の学習における学校図書館の機能を理解し、教育活動の様々な場面で学校図書館を効果的に活用するための司書教諭としての役割を学ぶ。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	各教科・領域の学習における学校図書館の機能を理解し、教育活動の様々な場面で学校図書館を効果的に活用するための司書教諭の役割を記述することができる。				
2					
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への主体的な参加姿勢 （40%）				1
2	課題レポート （60%）				1
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
中学校において司書教諭、教頭として、学校図書館の運営に携わっていた経験に基づいて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、学校図書館の機能を効果的に活用していくために必要な司書教諭としての能力を指導する。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 現代の学校教育と学校図書館					
事前学修	テキスト第1章を読み、現代の学校教育と学校図書館について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。				2時間
事後学修	現代の学校教育と学校図書館について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。				2時間
2 教育課程の編成と学校図書館					
事前学修	テキスト第2章を読み、教育課程の編成と学校図書館について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。				2時間
事後学修	教育課程の編成と学校図書館について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。				2時間
3 学習指導要領と学校図書館					
事前学修	テキスト第3章を読み、学習指導要領と学校図書館について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。				2時間
事後学修	学習指導要領と学校図書館について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。				2時間
4 学校図書館における情報活用能力の育成					
事前学修	テキスト第4章を読み、学校図書館における情報活用能力の育成について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。				2時間
事後学修	学校図書館における情報活用能力の育成について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。				2時間
5 情報活用能力等の育成と評価（課題の設定）					
事前学修	テキスト第5章を読み、情報活用能力等の育成と評価（課題の設定）について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。				2時間
事後学修	情報活用能力等の育成と評価（課題の設定）について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。				2時間

6 情報活用能力等の育成と評価（情報の収集）		
事前学修	テキスト第6章を読み、情報活用能力等の育成と評価（情報の収集）について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	情報活用能力等の育成と評価（情報の収集）について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間
7 情報活用能力等の育成と評価（整理・分析）		
事前学修	テキスト第7章を読み、情報活用能力等の育成と評価（整理・分析）について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	情報活用能力等の育成と評価（整理・分析）について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間
8 情報活用能力等の育成と評価（まとめと表現）		
事前学修	テキスト第8章を読み、情報活用能力等の育成と評価（まとめと表現）について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	情報活用能力等の育成と評価（まとめと表現）について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間
9 情報サービスと学校図書館		
事前学修	テキスト第9章を読み、情報サービスと学校図書館について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	情報サービスと学校図書館について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間
10 発達・情報ニーズに応じた学校図書館メディアの選択		
事前学修	テキスト第10章を読み、発達・情報ニーズに応じた学校図書館メディアの選択について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	発達・情報ニーズに応じた学校図書館メディアの選択について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間
11 学習指導を支える学校図書館メディアと環境の整備		
事前学修	テキスト第11章を読み、学習指導を支える学校図書館メディアと環境の整備について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	学習指導を支える学校図書館メディアと環境の整備について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間
12 教科等の学習指導の実際と学校図書館		
事前学修	テキスト第12章を読み、教科等の学習指導の実際と学校図書館について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	教科等の学習指導の実際と学校図書館について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間
13 総合的な学習・探究の時間と学校図書館		
事前学修	テキスト第13章を読み、総合的な学習・探究の時間と学校図書館について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	総合的な学習・探究の時間と学校図書館について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間
14 特別な教育的ニーズと学校図書館		
事前学修	テキスト第14章を読み、特別な教育的ニーズと学校図書館について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	特別な教育的ニーズと学校図書館について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間
15 司書教諭の役割と学習指導と学校図書館		
事前学修	テキスト第15章を読み、司書教諭の役割と学習指導と学校図書館について、自らの考えを整理して講義に臨むこと。	2時間
事後学修	司書教諭の役割と学習指導と学校図書館について学び得たことを記述し、レポートを提出すること。	2時間

試験等
課題レポートの提出
試験のフィードバックの方法
課題レポートについて講義の中でコメントする。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
学習指導と学校図書館／「探究学校図書館学」／全国学校図書館協議会／2000／9784793322761／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
＜必携書＞ 『中学校国語科学習指導の創造 学校図書館と学習者を結んで』，2018年，ISBN978-4-86327-424-2，伊木洋，溪水社（POD版のため個人で発注・購入すること） ＜参考書等＞ 『小学校学習指導要領（平成29年告示）』，2017年，文部科学省 『中学校学習指導要領（平成29年告示）』，2017年，文部科学省 『高等学校学習指導要領（平成30年告示）』，2018年，文部科学省 『資質・能力を育てる学校図書館活用デザイン 「主体的・対話的で深い学び」の実現』，2017年，ISBN978-4-7619-2388-4 C3037，稲井達也，学事出版
オフィスアワー
オフィスアワー：水曜日3限。随時メールで受け付ける。
連絡先
higi@m.ndsu.ac.jp
留意事項
教職課程履修生にふさわしいあり方で受講すること。 学校図書館を活用した学習指導のあり方に関心を持ち，実践的な問題意識を高めていくこと。 講義の中でPCを使用することがある。ノートPCを持参すること。 各時間の自己評価をコメントシートに記述すること。 別途講義で指示し，必携書（POD版）掲載の実践事例を考察する課題レポートの提出を求める。 課題への取り組みを充実させ，期限を厳守して提出すること。

読書と豊かな人間性				【単位数		2単位					
授業コード		16430		科目ナンバリング		520Z0-2340-x2		開講年度学期		2025年度第2期	
担当者氏名		村中 李衣									
時間割備考											
授業形態（主）		1 講義									
授業形態（副）											
担当形態		単独									
研究分野（大学院）											
本授業の概要											
子どもの読書の状況と読書の意義を踏まえつつ、学校図書館での実際の読書活動を促すための方法論として「ブックコミュニケーション」と「童話創作」の二つの技能を体得できるようにする。このことにより、子どもの本を実際に知り、読書を推進する学校図書館や関連施設の役割と問題を概説する。											
</											

6 ブックコミュニケーションによるさまざまなジャンルの本との出会い		
事前学修	自分が実際にブックコミュニケーションを始められるように実施案を考えておく	2時間
事後学修	実際に実施してどういう実施計画の問題点があったか、授業中に配られたシートを用いて振り返る	2時間
7 創作レッスンを始めるために		
事前学修	自分はどのような作品を小学生もしくは中学生に伝えたいか考えておく	2時間
事後学修	授業を通して自分の理解力がどう深まり、どんな発見があったかをマナバに回答する	2時間
8 童話の構造を学ぶ		
事前学修	自分の気に入った童話短編を一つ選びよく読んでおく	2時間
事後学修	授業を通して自分の理解力がどう深まり、どんな発見があったかをマナバに回答する	2時間
9 言葉を磨く		
事前学修	ワーク1までのテキストを熟読してくる	2時間
事後学修	授業を通して自分の理解力がどう深まり、どんな発見があったかをマナバに回答する	2時間
10 構想を練る		
事前学修	どんな作品を書きたいか、およその構想をまとめてくる。発表できるようにしてくる。	2時間
事後学修	授業を通して自分の理解力がどう深まり、どんな発見があったかをマナバに回答する	2時間
11 実際に書いてみる		
事前学修	授業中に指示したテキスト内のワークをやってくる	2時間
事後学修	授業を通して自分の理解力がどう深まり、どんな発見があったかをマナバに回答する	2時間
12 読み手の気持ちの動きを知る		
事前学修	自分の書いた作品を他者に読んで聞かせられるように準備してくる	2時間
事後学修	授業を通して自分の理解力がどう深まり、どんな発見があったかをマナバに回答する	2時間
13 改稿と仕上げ		
事前学修	テキスト内の改稿指導部分を熟読し、自分の作品の改稿方法を理解してくる	2時間
事後学修	授業を通して自分の理解力がどう深まり、どんな発見があったかをマナバに回答する	2時間
14 子どもたちを創作に誘うことで学校生活を豊かに		
事前学修	実際に教室で実施するための指導及び実施案を考えてくる	2時間
事後学修	実際に実践してみたことで自分の理解力がどう深まり、どんな発見があったかをマナバに回答する	2時間
15 まとめ（質疑応答）		
事前学修	これまでの授業を振り返り、疑問点や問題点を自分なりに整理してくる	2時間
事後学修	授業全体（15回）を通して自分の理解力がどう深まり、どんな発見があったかをマナバに回答する	2時間

試験等
授業の中でブックコミュニケーションの発表を行い、その取り組みとプレゼンテーションを評価。 授業の中で童話創作を行い、仕上げられた作品を評価。
試験のフィードバックの方法
授業の中で、全員のプレゼンテーションに対する講評を行う。 提出された全員の童話に対する講評を行う。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
『はじめよう！ブックコミュニケーション響きあう教室へ』村中李衣・伊木洋著 2019 金子書房 978-4-7608-3279-8 『「こどもの本」の創作講座 おはなしの家を建てよう』村中李衣著 2022 金子書房 978-4-7608-2441-0 *2冊をテキストにして学んでいきます。
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問を受け付ける
連絡先
muranaka@m.ndsu.ac.jp（村中）
留意事項
テキストをもとに自分たちで主体的に取り組まなければならないことが続きます。実践に結びつく力となりますので、毎回の課題を取りこぼすことなく学んでください

情報メディアの活用					単位数	2単位
授業コード	16440	科目ナンバリング	520Z0-2340-x2	開講年度学期	2025年度第2期	
担当者氏名	下園 和宏					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）	2 演習					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
学校図書館が「学習センター」及び「情報センター」としての機能を果たすために、学校や学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法等や情報メディアに係る児童生徒の保護・支援などを中心に講義する。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	学校図書館における情報メディアの種類や活用方法を知る。				知識・技能	
2	学習を支援する学習センターの機能や児童生徒の情報リテラシーの育成を説明することができる。				思考・判断・表現力／主体性	
3	情報機器やインターネット接続など、学校図書館の情報化に関する基本操作ができる。				知識・技能	
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	授業出席 (50%)				1／2／3	
2	授業中の課題 (20%)				1／2／3	
3	試験（30%）				1／2／3	
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間			
第01回 教育の情報化と学校図書館						
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。					2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。					2時間
第02回 学校図書館と情報メディアの活用						
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。					2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。					2時間
第03回 情報メディア活用能力と情報リテラシー						
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。					2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。					2時間
第04回 教育メディアの歴史①_活字メディア、視聴覚資料等						
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。					2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。					2時間
第05回 教育メディアの歴史②_コンピュータの活用						
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。					2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。					2時間

第06回 情報メディアの種類と特性①_印刷メディア、視聴覚メディア等		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第07回 情報メディアの種類と特性②_デジタルメディア		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第08回 学校におけるICTの活用		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第09回 インターネット情報源と情報検索		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第10回 児童生徒の情報行動の実態と指導		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第11回 情報メディアの活用事例		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第12回 特別支援教育における情報メディアの活用		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第13回 情報メディアの活用と情報リテラシー①_情報モラル教育		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第14回 情報メディアの活用と情報リテラシー②_個人情報保護とセキュリティ		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間
第15回 今後の学校図書館の課題と方向性		
事前学修	授業実施前に教科書の内容に目を通し、不明点及び疑問点を把握することが望ましい。	2時間
事後学修	レジュメ及び講義内容の中で生じた不明点及び疑問点を、自ら調べることで解決することが望ましい。解決できなかった点はオフィスアワーやメールを活用し解決すること。	2時間

試験等
定期試験
試験のフィードバックの方法
試験実施後に結果及び内容の解説を行う。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
探究学校図書館学 第5巻 情報メディアの活用／全国学校図書館協議会「探究学校図書館学」編集委員会／編著／全国学校図書館協議会／2000／9784793322785／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし
オフィスアワー
オフィスアワー：金曜日 5時限 授業終了後に教室で質問を受け付けるほか、メールでの問い合わせも可とする。
連絡先
shimozono@m.ndsu.ac.jp
留意事項
・授業レジュメは授業実施時に配布。 ・授業時の課題の制限時間は厳守。